

prendre un canon!

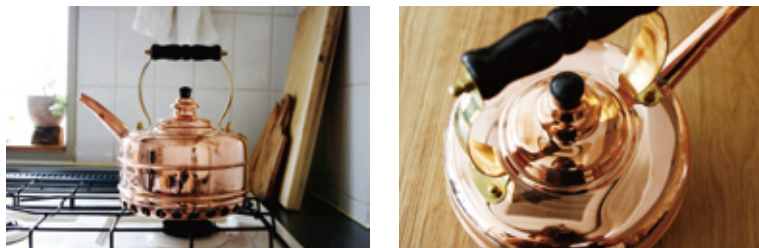
Dard et Ribot



北ローヌを代表する自然派ワイン生産者として知られるダール・エ・リボ。当主のルネ・ジャン・ダールと友人でありパートナーであるフランソワ・リボの2人によって運営されるドメーンです。多くの自然派ワインファンを魅了する一方で、権威的なワインジャーナリズムを嫌い、メディアへの露出が極端に少ないために、知る人ぞ知る存在であるとも言えます。彼らはシラーという品種の繊細な美しさとエルミターージュやサンジョセフといった土地のテロワールを追求し、自然な栽培・醸造に辿り着きました。「自然派ワイン」それ自体が目的ではなく、「美味しいワイン」こそが彼らの理想なのです。栽培は、除草剤・化学肥料を用いない自然な方法で行い、極限まで遅らせた収穫によって健全で完熟したブドウを得ます。茎まで完全に熟したブドウであるため、除梗も行いません（彼らは良いワインのためには茎が必要と考えています）。発酵・醸造においても、自然酵母による発酵や、清澄・ろ過を行わないなど人為的な作業を排し、ブドウの持つ本来の純粋さをワインに映し取ります。彼らのワインは従来の頑強でスパイシーなシラーというイメージとは異なり、ブドウや畑本来の個性を引き出した非常に滑らかで優しい果実味のある、品の良さを備えたものです。素直に繊細に、ワインのピュアさや美しさを表現しています。

doinel standard

Simplex



英国パーミンガムの老舗メーカー Simplex (シンプレックス) 社は、1903年の創業時から、熟練の職人達のハンドメイドにより最高品質のケトルを生産しています。アフタヌーンティーの風習が広まり始めた創業当時から、英国女性の憧れのティータイムグッズとして人気を博していました。アルミの2倍近くも高い熱伝導性を持つ銅を使用し、特にコイルケトルは集熱器(スカート&コイル)の効果で弱火でもより早くお湯が湧きます。注ぎ口が細めでお湯の切れがよく、沸騰すると笛を鳴らして知らせてくれます。ハンドルは熱くならない木製です。古き良き英国のものづくりのこだわりが凝縮された、独自の工夫とトラディショナルなデザインを兼ね備えたケトルです。

vêtements et accessoires

TEXIDORS



スペインのカタロニア語で「職人」を意味する TEIXIDORS (テキシドール) は、スペイン・カタルーニャ州タラサにあるテキスタイルメーカー。精神医学を専門分野とするソーシャルワーカーのマルタと、繊維産業の技術エンジニアのファンによって創設されました。学習障害を持つ人々の社会的自立のために、手と足で駆動される木製の毛織機で行う伝統作業を治療プロセスに生かしたいと考えたマルタは、5年の歳月をかけて独自の生産プロセスを構築します。デザイン性と品質の高さを兼ね合わせたファブリックメーカーとして始動した TEIXIDORS。学習障害を持つ生産スタッフとサポートスタッフが協働で作業を行い、ウール、カシミヤ、リネン、シルク、ヤクなどの最高品質の天然素材を生かし、細やかな縞れ織りによって保温性の高いファブリックを世に送り続けています。柔らかな色も魅力のショールは、羽織っていることを忘れてしまうくらい軽やかな仕上がりです。



new arrival

CARTA PURA schedule 2014

ミュンヘンに本拠を置くステーションリーカンパニー、CARTA PURA。1985年からファインペーパーの小売業を開始しました。ヨーロッパや日本などの上質な紙の輸入販売を行う他、オリジナルの手帳やノート、カードなどの商品デザインも手がけ、世界中に発信し続けています。CARTA PURA オリジナルのスケジュール帳は、1日の書き込みスペースが広いので、スケジュールだけでなく日記やメモも合わせて記入できます。ハードカバーの表紙には日本の絹織物を模した紙「ツムギ」が使用され、独特の表情と質感を持っています。丈夫で汚れがつきにくく、滑らかな手触りとシンプルなデザインは飽きることなくお使いいただけます。

special du ce mois

CICOUTE/BAKERY シュトレン

クリスマスを迎えるまでの間、少しずつカットして食べやすめるドイツのお菓子と言えば、シュトレン。独特な形をしたシュトレンは、キリスト誕生時のおくるみの形をかたどったとも言われています。お酒につけたフルーツやナッツがぎっしりと包まれ、外にはお砂糖がたっぷりたまふされています。大勢で集まることが増えるこの時期には、手土産にも最適です。コーヒーやワインに合わせてお召し上がりください。

◆doinelでは CICOUTE/BAKERY の特製シュトレンを、12月14日・12月21日の2回限定で発売いたします。(事前のご予約は承っておりませんので、予めご了承下さいませ。)



doinel journal

December, 2013

Take Free

M	E	R	R	Y
M	A	N	Y	
B	O	X		
DE	CE	MB	ER	20 13
d	o	i	n	e L

ボックスを開けた瞬間、プレゼントがびったりと収まっていたり、小さな箱が積まれてリボンで結んであったり、色とりどりの柄のボックスが並んでいるだけで気分が高まるものです。ただ「モノ」を贈るだけでなく、丁度良いサイズのボックスと合わせて贈る。贈りものももっと楽しくなる doinel セレクトのアイテムを、オリジナルボックスとセットにご紹介します。

イタリア・フィレンツェで17世紀から作られているファインペーパー「carta varese」を使用したボックスは、アイテムのサイズに合わせて特別に作成したものです。

オリジナルボックスに合わせたハンドメイドのグロッサリーもご用意しました。旬の国産有機野菜だけで作られた2種のピクルス、キャツネとシロクマの表情が愛くるしいアイシングクッキーや素材そのものの色が楽しい3色のビスコッティ。初入荷の自然派シャンパーニュや手土産にも最適な自然派ワインも、びったりと収まるオリジナルボックスとセットでお楽しみください。

Figurine



Cookie

Pouch

Pickles



e t c .

My favorite ◯△×

My favorite Ceramic Artist "Guido De Zan"

築地くから原稿の依頼があってから何について書くか悩んでいた時に、前号で執筆をされていた泉さんがInstagramでUPしていた作家 Guido de Zan (グイド・デ・ザン) の作品を見て、私もとても好きな作家だったので友達の輪的(笑っていいとも！終わっちゃいますね)に繋げていくのも面白いなあと思い、今回は彼について書かせていただきたいと思います。

彼は1947年ミラノ生まれの66歳。大学時代は社会学を学び、障害児の教育の仕事をしていました。そこから磁器の魅力にはまり1975年からは磁器作家としての活動を開始、現在ミラノでアトリエ兼ショップを構え、精力的に活動を行っています。

私と彼との出会いは、今から3年程前のミラノサローネ。と言っても彼がサローネに出展していたわけではなく、展示会巡りをしている時に偶然見つけたお店でした。ウィンドウに飾られた切り絵をコラージュした作品やイラスト、線画で絵付け

された彫刻のような磁器の数々は、どこか懐かしい温もりと眺めているだけで楽しい気持ちになるとも魅力的なものでした。その日はお店が開いていなかったで、翌日改めてお店に行ってみると白髪白ひげをたくわえたおじいちゃんが作品を作っている姿が窓越しに見えました。イタリア語は全く話せないで緊張しながら扉を開けると、「ボンジョルノー！」と予想を上回る大きな声に動揺しつつ、日本から仕事で来ていることを話すと英語は全く通じませんでした。ボディランゲージと片言のイタリア語で伝えると、ニコニコした表情で早口のイタリア語での会話の繰り返し。おそらく最後までほとんど会話は通じていなかったと思いますが、切り絵やフラワーベースなどいくつか気に入った作品を選ぶと、とても喜んでくれ、お土産まで持たせてくれました。

翌年も同じようにお店に伺うと、お爺さんは私のことを憶えてくれていたようで、大きな手で握手をしてくれ、若い頃の思い出から(なんとブルー

ノ・ムナーリと仲良かったそうです)、過去に日本でやった展示会のエピソードまで2時間近く話してくれました。帰り際に去年からずっと気になっていたアトリエで使われているペン立てが欲しいことを伝えると、彼は「アミーコ！」と笑顔で譲ってくれました。そのペン立ては宝物の一つとして今でも自宅のリビングに大切に飾っています。

残念ながらそれ以来伺うことはできてませんが、きっと今もあの日差しが心地よく入るアトリエで作品を作り続けていることでしょう。こうして思い返してみると、私は彼の作品はもちろん好きなのですが、人柄に一番魅かされているのかもしれない。自宅にある作品たちを眺める度に、彼の笑顔や握手をした時の手の温もりを思い出し、なんだか優しい気持ちになります。

大島 忠智 (IDEE Buyer & Press) <http://www.ideelifeycling.com>

インタビューWebマガジン「LIFECYCLING interview & photo」の企画運営を担当。また音楽レーベル「IDEE Records」を主宰し、CDのプロデュースからDJ、執筆、USEN放送 (IDEE Records Channel D/H 46) の選曲・監修などを行う。



doinel

[location]

3-2-9 Kita-Aoyama, Minato-ku, Tokyo 107-0061

It is 3 minutes' walk from Gaienmae Station of Ginza Line to doinel.

Open 12:00 - 20:00

Closed Wednesday

[contact]

tel +81-(0)3-3470-5007

info@doinel.net

[f](#) a_doinel

[f](#) doinel

